

調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く問題や、直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ問題、500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く問題などが出題されています。

全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	69.8%	70.0%	70.2%	-0.4
平均正答数	11.2問 /16問	11.3問/16問	11.2問 /16問	±0.0

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

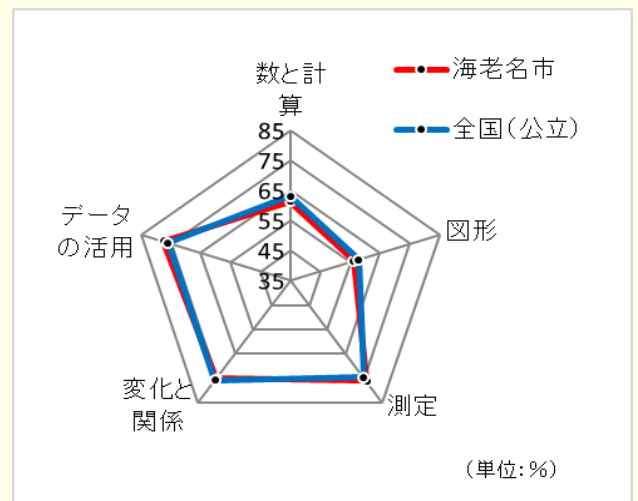
正答数分布グラフ

(横軸:正答数, 縦軸:割合)



- * 正答率 50%以下(0~8問)の児童の割合は 22.8%です。【全国は 21.6%】
 - * 正答率 80%以上(13~16問)の児童の割合は 41.9%です。【全国は 42.8%】
 - * 中央値は 12 問です。【全国も 12 問】
- 中央値…正答数を大きさの順に並べた時に真ん中に位置する値。

学習指導要領の領域等の平均正答率



「測定」「データの活用」の2つの領域は、全国と比較して上回っています。

分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率 (%)			平均無解答率 (%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	数と計算	4問	61.3	63.1	-1.8	4.5	3.9	0.6
	図形	3問	56.2	57.9	-1.7	1.7	2.4	-0.7
	測定	3問	76.2	74.8	1.4	1.1	1.1	±0.0
	変化と関係	3問	75.3	75.9	-0.6	2.0	1.5	0.5
	データの活用	5問	77.4	76.0	1.4	2.8	2.8	±0.0
問題形式	選択式	6問	77.2	76.0	1.2	1.3	1.0	0.3
	短答式	6問	73.2	75.8	-2.6	1.8	1.5	0.3
	記述式	4問	53.6	53.0	0.6	6.3	6.7	-0.4

海老名市の結果についての分析

- 平均正答率、平均正答数、中央値を見ると、全国と比べて大きな差は見られません。
- 正答率が全国を上回った問題は、16問中8問です。また、正答率が80%以上の問題は、16問中6問（全国も6問）です。
- 問題形式から見ると、「記述式」の問題は4問中3問で全国の上回っています。「短答式」の問題は6問中4問で全国の上回り、平均正答率も全国と比較すると-2.6ポイントでした。

全国の上回った問題の例

小学校算数のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

2

図1のような直角三角形があります。

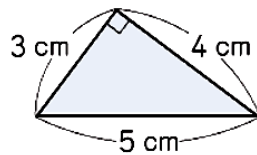


図1

- (1) 図1の直角三角形の面積は何 cm^2 ですか。
求める式と答えを書きましょう。

- 2 (1) 直角三角形の面積を求める式と答えを書く。

趣旨 三角形の面積の求め方について理解しているかどうかをみる。

正答 式 $3 \times 4 \div 2$
答え 6 cm^2

◇この問題の上答率

海老名市	45.8%
全国（公立）	55.1%
（全国との比較）	-9.3

考 察

- 棒グラフから数量を正しく読み取ったり、項目間の関係を読み取ったりすることがよくできており、棒グラフの特徴やその使い方についてよく理解しています。
- 商が1より小さくなるわり算の計算や数直線を活用して考えを記述することに課題が見られ、指導の工夫が求められます。

指導の改善にむけて

◆知識を活用し、理解を深めるために

- 学習内容について理解を深めることができるように、具体的な場面と関連づけたり、答えや考えをふり返ったりする機会を取り入れるように努めます。
- 表やグラフ、数直線などについて、児童が正しく読み取ったり活用したりすることができるように他教科とも関連を図りながら指導します。

◆主体的に取り組むことができるようにするために

- 意見を伝え合い、学び合う中で、考えを表現したり意味を深く理解したりする楽しさを感じ、達成感を得ることができる授業づくりに努めます。